

② ^{ふるかたぬま}古潟沼 (会津高田町)

今から約300年前に古潟沼のため池を高田村郷頭^{ごうがしら}、田中五郎三郎の測量^{そくりょう}、設計^{せつけい}により、のべ950名の人足^{にんそく}を使って完成しました。東西約720メートル、南北約108メートル、深さがおよそ5.4メートルです。

その後、会津藩^{とのさま}の殿様は、新しい田を作ることに力を入れたために田んぼもふえ、人口も多くなってきました。そのため、今までの古潟沼の水では足りなくなってきました。そこで、もっと水を多く貯めることができる方法はないだろうかと考え、およそ200年前に「坊ヶ沢堤^{ぼうさわ}」が造られました。それにより用水はふえましたが、いったん日照りになると水不足となり、まだまだ大へんでした。これを解決するために、今から180年前に古潟沼の大改修工事^{かいしゅう}を行いました。工事期間は6月から10月までの5か月間で、人足は17,802人を数え、会津の各地方から集められたと言われています。

はじめに古潟沼ができてから、およそ100年後に、ようやく今まで以上に大きな古潟沼ができたのです。



- ◆場所 会津高田町大字雀林字堂平
- ◆堤の高さ 8.4m
- ◆堤の長さ 97m
- ◆受益面積 90ha
- ◆貯水量 40,000 m³